

深川消防団ニュース



# さきもり

発行 深川消防団  
 所在地 〒135-0042  
 東京都江東区木場  
 3丁目18番地10号  
 深川消防団本部  
 TEL : 03-3642-0119  
 FAX : 03-3641-4422

## 災害時想定「自転車で呼びかけ、可搬ポンプで消火」合同点検に於いて



### 念頭のご挨拶



深川消防団長  
形屋 憲一

輝かしい新春を迎え  
おめでとうございます

昨年の深川消防団の活動を顧みますと、六月の消防操法大会を皮切りに、モデル分団を中心とした活動機能強化訓練（上記写真）や、残暑厳しい中での江東区総合防災訓練、江東区内消防団合同点検（点検者・東京消防庁防災部長）、それに総合震災消防訓練と様々な活動を実施して参りました。

また、各種警戒に対しても積極的に活動、特に富岡八幡宮第五回「子供神輿連合渡御」の警戒、年末及び大晦日から元旦にかけての神社、仏閣での年末年始消防特別警戒は、区民の安全を確保する為の活動であり、団員の方々には大変苦勞をかけたりましたが、今後も積極的な消防団活動への取り組みをお願いする次第であります。

さて、昨秋は第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会の開催都市が東京に決定するという大変すばらしいニュースを聞くことができました。



しかも、我が深川消防団も守るエリアでは様々な競技が実施される予定であります。今からそんな七年も先のことを・・・と思われる人もいるかもしれませんが、いつ起こるか分からない災害に備える事が我々消防団員に課せられた使命であります。

明日起こることも、何十年先に起こることも、同じように対応できなければなりません。

このことを念頭に置き、「災害活動の強化」「消防署隊との連携強化」そして、「地域の防災行動力向上のための積極的な防火防災指導」以上三点を軸に、日々の努力を積み重ね、地域の皆様の負託に応えていく決意であります。

大変うれしい連絡があります。深川消防団が東京都消防協会より、平成二十四年度・二十五年度と連続で優良消防団の表彰を受けました。この事は、団員の方々の活動が高く認められたという証しであります、団員の皆様大変おめでとう御座います。

本年も深川消防団に格別なるご指導とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに臨み、深川消防団員、深川消防団関係団体、深川消防署職員の皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

合同点検で訓練成果を披露

首都直下型地震を想定した、より実践に即した、情報収集・伝達能力向上消防署隊との連携による消火、救助及び応急救護等の訓練を25年6月から開始しました。その成果を、合同点検時に披露しました。

参加団員の感想を紹介します。

参加団員

第四分団 笠嶋 大介 団員

各分団より数名参加し、訓練を行ってきました。各分団員は、参加団員より指導を受け訓練を行う事になります。

私は、訓練に参加し様々なことを改めて経験しました。

防火服は、すみやかに正確に着装し、更に、お互い着装確認を行い急ぎ火災現場に向かう。この事が事故を防止するとともに、確実な初期消火と延焼防止にも繋がるという事を学びました。

また、消防操法演技とは異なり、実際の火災現場では、いかに現場を把握し正確な状況を早く伝達する事の大切さや困難さも学びました。当日は可搬消防ポンプ、可搬消防ポンプ積載車に分かれての実践を想定した消火活動を行いました。四分団配備の可搬消防ポンプを使用することもあり、四分団員

の私が機関員を担当しました。実演前は、隊長からの指示、隊員との意思疎通をいかに計るかを考えていたものの、訓練成果の半分も出ず事が出来ませんでした。この事をふまえ、様々な経験をしてきた先輩方のご指導と、今回教わった事と感じた事を四分団員に伝える事が、今後の活動の目安になると強く感じました。

私自身も今回、合同点検に於いて、実践出来た事は今後の団活動への自信に繋がると感じました。

(第四分団 正本 編集員)

参加団員

第六分団 竜崎 誠 班長

第六分団 田口 訓正 団員

地域防災の向上を図る為、防災意識及び行動力をモデル分団中心に行った訓練の成果を合同点検で実践披露しました。消防職員と同じ(実践訓練)で貴重な体験が出来ました。今までの訓練の内容を多くの方に見ていただいていた緊張しましたが、無事披露でき良かったです。又、我が分団には、無いポンプ積載車の操作も出来大変勉強になりました。この体験を六分団にフィードバックし、訓練を重ね、頑張ります。今後もしよろしくお願い致します。

深川消防団の皆様、関係の皆様、誠に有難うございました。

(第六分団 齋藤 編集員)

消防団協力事業所

弊社は、防火・防災に積極的に取り組んでいます。

http://www.teisoh.co.jp/ E-mail:info@teisoh.co.jp  
PHONE.03-3642-0121 FAX.03-3641-1763

**TEISOH** 株式会社 テイソウ  
〒135-0024 東京都江東区清澄 1-5-1

消防団協力事業所



株式会社 **ムトウユニパック**

代表取締役 会長 武藤 庄一

私たちは、本社ならびに各事業所を通じ、地域社会への貢献を目指しております。



本社 / 東京都江東区永代 1-7-12 TEL 03-3642-1141 (代表)  
http://www.mutoh-u.co.jp/  
支店・出張所 / 城南・東京中央・城西・横浜・千葉・四ッ谷・さいたま  
栃木・前橋・新潟・水戸・長野・大阪・仙台



消防団120年  
自治体消防65周年  
記念大会開催されました。

【期日/11月25日】  
【場所/東京ドーム】

昨年十一月下旬に東京ドームに於いて、消防団発足120年を記念した記念大会が約37,000人の全国から集まった消防団員を迎えて開催されました。

※注釈（日本消防の歩みを制度の面からだけでなく、できる限り、先人の皆さんがご尽力をいただいた現実の消防活動の面から見ようとしますと、明治27年の消防組規則（勅令）の制度による全国統一した姿による消防組（消防団の前身）のスタートまで遡ることとなります。平成二十五年で120年目です）

記念にいかがですか



特殊切手：「消防団120年」  
平成25年11月25日発行

今回の大会では、まずそのような日本消防の発展の歩みを振り返りながら記

念式典を行い、消防実技の変遷をたどります、との事でした。

- ❖ 開会式前プログラム
- ❖ 消防伝統演技
- ❖ 天皇皇后両陛下ご臨席
- ❖ 黙祷
- ❖ 第一部記念式典
- ❖ 天皇皇后両陛下ご退席
- ❖ 第二部・第三部
- ❖ 消防未来宣言
- ❖ 万歳三唱で終了しました。

消防未来宣言

日本消防は百年以上にわたる先人のご尽力によつて発展し、今日広く信頼を得るに居たっている。

私たち消防人は、自らの地域は自ら守るといふ先人の熱い思いを受け継ぎ、国民の皆さんのご理解ご協力のもと、全国一致団結し、新しい技術等も積極的に導入しながら、少年女性を含む地域住民の皆さんとともに、より強固な未来の日本消防づくりにまい進する。そうして社会経済の進展に伴い変化を見せるあらゆる災害事故に対処し、国民の安全を守るため、全力を尽くすことを固く誓い、ここに宣言する。



昭和23年3月自治体消防制度発足

消防用偵察ロボット



津波や土砂災害現場用  
偵察用無人ヘリ



手引き蒸気ポンプ（明治、大正時代）

消防団協力事業所

弊社の社員も消防団員として活動しています。  
社員一人ひとりが、防火・防災の知識・技術の向上に取り組んでいます。

ご宿泊・ご婚礼・ご会合等、お気軽にお問い合わせください。

East 21 ホテル イースト21東京  
〒135-0016 東京都江東区東陽 6-3-3  
03-5683-5683 (代表)  
www.hotel-east21.co.jp

消防団協力事業所

「大震災はいつ起こるか  
分からない」

弊社の社員も消防団員として活動しています。

丸八倉庫株式会社

江東区富岡 2-1-9 N.V 富岡ビル 4階



年末・年始  
消防特別警戒

州崎神社

第七分団受け持ち区域

州崎神社は、第七分団が警戒にあたっております。

近くに富岡八幡宮、深川不動尊（成田山東京別院）などがありますが、ここ州崎神社も毎年大勢の参拝者が訪れ、大変にぎわいますが、今年も椎名分団長のもと、整然と規律をもって警戒にあたり事故無く、無事に警戒が終了しました。



州崎神社

第八分団

小型ポンプ積載車と徒歩組に分かれて年末警戒を行いました。車にはこの冬の雪に備えてスタッドレスタイヤを装着しました。

昔は商店なども大みそかまで営業しており、たき火をやっているところも多かったなどと話しながら徒歩での警戒をしていました。

分団本部ができて3年余りたち、年末警戒も恵まれた環境で行うことができております。小型ポンプ車で他分団地区を回ると、厳しい環境で年末警戒をされている分団もあり、早く全ての分団施設が整備されることを祈っております。

(第八分団 庄井 編集員)



第十分団

表彰者の紹介 合同点検以降の

消防総監表彰 (功績表彰)

- 第八分団 分団長 鳩貝 裕幸
- 第九分団 分団長 下村 勝一
- 第四分団 副分団長 中澤 聡

消防総監表彰 (優良表彰)

- 第一分団 部長 原田 浩吉
- 第二分団 班長 平林 忠之
- 第三分団 団員 中島沙江子
- 第五分団 班長 関 篤史
- 第六分団 班長 渡邊 鉄男
- 第六分団 団員 笠原 一敏
- 第六分団 班長 村杉 和子
- 第七分団 部長 深作 広明
- 第八分団 部長 山内 浩二
- 第十分団 部長 金田 淳子

消防総監表彰 (家族感謝状)

ご家族 平山 智章

(団本部 副団長 平山 敏夫)

江東区長表彰 (勤続四十年)

団本部 副団長 平山 敏夫

江東区長表彰 (勤続三十五年)

団本部 副団長 山下 勝義

第二分団 部長 押田 正秀

江東区長表彰 (勤続二十年)

- 第一分団 分団長 寫田 眞三
- 第一分団 副分団長 佐藤 信夫
- 第八分団 副分団長 堀川 昌裕
- 第八分団 部長 庄井 勤
- 第九分団 副分団長 山宮 健一

日本消防協会会長表彰

消防団120年・自治体消防65周年記念 (消防団員家族表彰)

- 深川消防団団長 形屋 憲一
- 第六分団 副分団長 形屋 幸子
- 第六分団 団員 形屋 敬介

消防署の指導者紹介

- 警防課 川部 課長
- 毎日勤務 小坂 防災安全係長
- 町田 消防団担当係長
- 吉原 副主任
- 1部当番 佐々木 主任
- 坂大 副主任
- 2部当番 日高 主任
- 西脇 副主任
- 柿崎 副主任
- 板井 係員
- 3部当番 島崎 主任
- 田島 係員

★救急車を呼ぶか、病院か迷ったら救急相談センターへ #7119 (携帯、PHS、フッシュ回線)

深川消防団員募集中!!

女性・勤務者・学生の方大歓迎 ♣️入団資格 心身ともに健康で、十八歳以上の方 消防団の区域内に居住、又は勤務の方 ♣️問い合わせ

深川消防団本部(深川消防署内) 電話 〇三(三六四)〇二九